

**平成 27 年度**

**長野県公共事業再評価について**

平成 28 年 1 月

長野県公共事業評価監視委員会

# 目 次

1. 本年度の審議対象事業の考え方	・・・ 1
2. 審議結果（意見書）のとりまとめ方	・・・ 1
3. 再評価事業に関する委員会としての意見	
(1) 防災・安全交付金事業：(一) 砥川 赤砂（下諏訪町）	・・・ 2
(2) 防災・安全交付金事業：(一) 求女川 田中（東御市）	・・・ 2
(3) 県営住宅建替事業：県営住宅アルプス団地（安曇野市）	・・・ 3
(4) 抽出以外の箇所	・・・ 3
4. おわりに	・・・ 4

# 平成 27 年度 長野県公共事業評価監視委員会 意見書

## ～公共事業再評価対象事業に関する意見～

### 1. 本年度の審議対象事業の考え方

本年度、長野県公共事業再評価委員会（以下、「県再評価委員会」という）から長野県公共事業評価監視委員会（以下、「本委員会」という）に対し、意見を求められた事業は 4 件であった。

本委員会の設置要綱では、審議案件について、県再評価委員会が規定の条件に基づき選定した再評価対象事業から、本委員会が抽出するとされている。

本委員会では表-1 に示す 4 件すべてについて説明を聞いたうえで、事業の進捗状況、残事業等を勘案し、詳細な審議の対象事業として 3 件を抽出した。

表-1 平成 27 年度 公共事業再評価対象箇所及び抽出箇所一覧

分野	再評価理由	事業名	路河川名等	箇所名 (市町村名)	採択 年度	現行計画				再評価案		抽出 箇所
						完成 予定 年度	総事業費 (百万円)	H27末 事業 進捗率 (%)	H28以降 残事業費 (百万円)	方針	コスト 縮減額 (百万円)	
河川	再評価	防災・安全 交付金事業	一級河川 砥川	赤砂 (下諏訪町)	H18	H32	3,570	72.5%	980	(見直して) 継続	30	○
	再評価	防災・安全 交付金事業	一級河川 金原川	海善寺北～本海野 (東御市)	H18	H37	2,900	50.7%	1,429	継続	-	
	再々評価	防災・安全 交付金事業	一級河川 求女川	田中 (東御市)	H3	H35	1,570	82.8%	270	継続	-	○
住宅	再々評価	県営住宅 建替事業	県営住宅 アルプス団地	(安曇野市)	H13	H37	2,620	26.7%	1,920	継続	-	○
合計				4件			10,660		4,599		30	

注) 網掛け：抽出箇所

### 2. 審議結果(意見書)のとりまとめ方

本年度の意見書のとりまとめにあたっては、県案に対する審議結果と評価の判断理由に加え、審議中にあったその他の意見を事業ごとに記載する。

### 3. 再評価事業に関する委員会としての意見

#### (1) 防災・安全交付金事業：(一)砥川 赤砂 (下諏訪町)

##### ■県案に対する審議結果：「見直して継続」とすることを妥当と判断する。

###### 【判断に至った理由】

- 当該事業は、平成 18 年度に採択され、平成 27 年度末における事業進捗率は約 73%、用地進捗率は約 79%であり、全体延長 2,800mのうち、残る約 1,000mの未整備区間についても、沿川には住宅地や国道 20 号、J R 中央線等の重要交通網等があり、改修の必要性が高いこと。
- 護岸工から根継工に見直すことによりコスト縮減に取り組むこととしているが、その前提となる既設護岸の健全性について現地で調査を行い、本見直しが妥当であると判断できること。

###### 《審議上のその他の意見》

- 最下流部に計画されている赤砂崎防災公園について、想定氾濫区域内に位置していることから、住民等に対しては、災害事象に対応した避難行動がとられるよう周知を図るなど取り組まれない。
- 近年多発する局地的な大雨による水害が激甚化していることを踏まえ、未整備区間が一定量あることから早期改修に取り組まれない。

#### (2) 防災・安全交付金事業：(一)求女川 田中 (東御市)

##### ■県案に対する審議結果：「継続」とすることを妥当と判断する。

###### 【判断に至った理由】

- 当該事業は、平成 3 年度に採択され、平成 27 年度末における事業進捗率は約 83%、用地進捗率は約 99%であり、全体延長 1,170mのうち、約 1,075mが整備済みであること。
- 残区間には、宅地、市道、しなの鉄道その他、水道等のライフラインがあり、早期に流下能力確保を図る必要があること。
- 事業費の増額については、鉄道事業者との協議を踏まえ工法検討するなかで、最も安価な工法を採用した結果であることを確認したこと。

#### 《審議上のその他の意見》

- 河川改修に併せて整備したホタル水路について、継続的な活用が図られるよう隣接する小学校等、地元と行政が連携して草刈り等の維持管理や既設の補修に取り組みたい。
- しなの鉄道との渡河部にある明治時代のレンガ造りの鉄道施設や、ホタル水路については、地域の財産として、観光面も含め積極的な活用が図られることを希望する。

### **(3) 県営住宅建替事業：県営住宅アルプス団地（安曇野市）**

#### ■ 県案に対する審議結果：「継続」とすることを妥当と判断する。

##### 【判断に至った理由】

- 当該事業は、平成 13 年度に採択され、現行計画 7 棟 142 戸のうち、平成 17 年度までに 2 棟 40 戸が建設されているが、未着工区域には 43 世帯が現在も居住中であり、居住環境の早期改善が必要とされていること。
- 交通至便で立地条件に恵まれる当該団地は、安曇野市内に存在する老朽小規模団地の移転集約の拠点団地として適当であること。
- 人口減少社会のなかでも、高齢化率は高まっており、住宅セーフティネットとしての需要が高いこと。

#### 《審議上のその他の意見》

- 今後団地の設計に当たっては、バリアフリーに加え、ユニバーサルデザインによる設計の視点も取り入れ、すべての人を対象に、多くの人が使いやすい施設となるよう取り組まれない。
- 単に住むだけの住宅の提供にとどまらず、ゆとりのある暮らしの実現といった観点から、公園等の共有部分についても、その地域に合った整備が図られるよう、市や地元自治会と協議を進めること。

### **(4) 抽出以外の箇所**

再評価の対象となる 4 件のうち、抽出しなかった 1 件は、東御市の一級河川金原川の河川改修事業であり、当該事業については、第 1 回委員会において、浸水被害防止の観点などから事業実施の必要性を確認し、県の「継続」とする再評価案について妥当なものと判断した。

## 4. おわりに

本年度の長野県公共事業再評価においては、県から意見を求められた4件について、4回の委員会と1回の現地調査を実施し、事業の必要性や工法の妥当性等から、県案を妥当なものと判断したが、引き続きコスト縮減の見直しにより、整備効果の早期発現を求めるものである。

なお、社会資本整備に当っては、住民のニーズが多様化するなか、関係機関や地元との調整が不可欠であるが、その調整期間が事業進捗に大きな影響を与えることを踏まえ、協議方法などを工夫し、関係者の合意形成に計画的に取り組むことを求めるものである。

以上